

## 鳥取県犯罪のないまちづくり推進計画(案)についていただいたご意見

くらしの安心推進課

ご意見の内容	ご意見に対する対応	備考
<b>反映した(一部反映したものを含む、3件)</b>		
1 防犯の青パトをやっているが、会員の数が減ってきている。住民からは巡回を増やして欲しいという意見があるが、会員が減っている状況で増やせる状態ではない。せっかくなので組織ができたので増やしていきたいが、先行きはあまりよくない。	青パトによる犯罪抑止の効果は高いと感じています。青パトの活動促進を図ることを明記します。	境港市在住の方
2 高齢者、女性、障害者の安全確保の項で、具体的施策例の中に、障害者という文字がない。これは、高齢者の中に含まれているのか。	当然、含まれますが、障害者宅への訪問や見守り活動などを明記します。	倉吉市在住の方
3 子どもの安全は、我々も外から守るという意識はあるが、子どもを持つ親が、子どもをどう守るのかということ学ぶ必要がある。	子どもだけでなく、保護者も参加する地域全体での講習会の実施を明記します。	北栄町在住の方
<b>既に盛り込み済み(32件)</b>		
1 犯罪のないまちづくりについては、車や自転車のこと、道路や駐車場のこと、それぞれの専門家等から意見を聞きながら集約していく必要がある。	大学、建築士、PTA、市町村など、各部門の専門家による協議会の意見を踏まえて策定しています。	湯梨浜町在住の方
2 振り込め詐欺とか、消火器販売とかいろいろ話がある。住民は誰に相談していいのかわからないという声がある。	消費生活情報の提供や出前防犯講習などを行うことを記載しています。	江府町在住の方
3 事件が起きると、校区の子ども会が集まって対策会議をすることがあるが、事件がないと全く何もしない。ここが問題だと思う。	子どもの安全教室など、地域全体での自主防犯活動を行うことを記載しています。	境港市在住の方
4 防犯活動の中で一番難しいのが意識啓発。子どもに防犯について話をするにしても、自分がその場面にどのように関わっていくのか、細かく場所を想定して教えないといけないが、親御さんがそれを教えられるのが現実。受ける側の意識、教育をどうしていくのかということの方が大事。一方通行ではダメで、場面ごとに自ら考え危険回避のできる能力をつけてもらうようにやっていく必要がある。	子どもだけでなく保護者や地域の方についても、地域安全マップの作成、具体的な事例に基づいた防犯訓練や危険回避能力の教育を促進していくことを記載しています。	北栄町在住の方
5 子どもかけ込み110番の家について、特に低学年に知らない子が多いので徹底して教えておくべきだし、数も増やす必要がある。防犯ブザーの正しい使い方の指導も学校の方でしてもらいたい。	子どもかけ込み110番の家については、本計画の中で数値目標を設定し、増やしていくことを記載しています。子どもに対する教育や指導も、関係機関が連携し実施していくこととしています。	境港市在住の方
6 インターネットが普及して、高校生になると、携帯をほとんど持っている。中学生のうちに、携帯、インターネットの防犯講習を受けるように、学校へ働きかけて行っていただきたい。	子どもに対し、携帯やインターネットに関する安全対策や適正利用に向けた教育指導を行うことを記載しています。	日南町50歳代女性
7 「生きる力」「学力」等を子どもたちが身につけるためには、子どもたちの活力を「非行」に向けない取り組みが必要だと思う。	学校や教育委員会と連携して、非行防止教室等を行うことを記載しています。	40歳代
8 青少年・特に中学生の非行抑制については、中学校・教育委員会・PTA・地域の役割がそれぞれあるかと思う。特に中学校・教育委員会の役割は重要であり、その点どうなっているのか。		40歳代
9 家の鍵について、在宅時にも全部鍵をすることを周知徹底すると、閉鎖的な街になると思う。我々は、子どもの下校時には鍵を開けて外に出て待つという人目を増やす活動をしていることが、それと全く逆な話になってしまう。	本県では、施錠に関する意識が低すぎるので、鍵かけ運動を進めていくべきだと考えますが、一方で子ども達を地域ぐるみで守っていくためには、御指摘のような活動も重要であり、そうした子ども見守り活動も推進していくこととしています。時、場所、場面にあった適切な対応を取ることが必要だと考えます。	倉吉市在住の方

10	ボランティア団体を作るのは、それほど難しくないが、維持するのが難しい。パトロールしたときの現場での具体的な対応がわからないから、進めないのだと思う。そういったことを教える研修が必要だと思う。	子どもだけでなく保護者や地域の方についても、地域安全マップの作成、具体的な事例に基づいた防犯訓練や危険回避能力の教育を行うことを記載しています。	北栄町在住の方
11	犯罪が発生した地域で、住民の防犯意識の高いうちに、自己防衛とか危機回避等の知識を身に付けてもらうような対策を講じることが必要だと思う。		北栄町在住の方
12	地域安全について、多くの方が、みんなでやらないといけない、地域は自分たちで守らないといけないと思うが、残念ながらそう考えない人もいる。町から各部落にチラシを配布するとか、具体的なことをしないとイケない。国や県はやっているということを示すチラシを何度も配れば、みんながそういった意識をもってやっていくことになると思う。	意識啓発については、本計画の自主防犯活動の促進の中でも最も重要なことで、重点的に取り組んでいくこととしています。	八頭町在住の方
13	どこの地区も連携が取れていないと思う。各地区で連携を組んで、具体的にどのようにしてやるのかということを示さないといけないと思う。	自主防犯活動を促進するためには、地域、防犯団体、行政による相互の連携が必要不可欠であり、地域情報ネットワークの構築等を行うことを記載しています。	境港市在住の方
14	地域で活動する組織を作ることが大事。こういうものを作って、お互い話し合いをすることで情報提供ができる。	地域安全ステーションの設置等により、地域での取組をバックアップして防犯活動を促進するとともに、地域情報ネットワークの構築を行うことを記載しています。	倉吉市在住の方
15	計画は、自治会組織の協力も得ないといけないし、住民全体の支援も必要。それぞれのグループでパトロールをしてくださいでは、ぜんぜん県民に届かない。	犯罪のないまちづくりについては、県民、防犯団体、事業者、県警、行政など、防犯に関係するすべての活動主体が連携して取り組んでいくことが大切であり、それを促していくこととしています。	倉吉市在住の方
16	地域の防犯灯は、住民自らが行政に頼らずやっけないといけない。我々もできることはすべきだし、行政がしないといけないことは行政がすべきで振り分けをする必要がある。私の村では、夕暮れになったら、午後10時ころまで門灯や玄関の電気をみんなで点けましょうという運動をしている。自分の町は自分で守るという基本姿勢を大事にしていく必要がある。	自分でできることは自分でする意識を持っていただくため、鍵かけ運動や声かけ運動などを行うことを記載しています。	倉吉市在住の方
17	防犯活動は警察に全部してもらうのではなく、地域ボランティアや行政もする。そのときに、集まって組織を作る。恒久的な組織を作るのではなくて、期間限定の特別なものでもよい。警察にすべてを依存したら意味がない。	市町村・県民・防犯団体・事業者・自治会などから選考して、全県を挙げて運動を展開するため、市町村・県民・防犯団体・事業者・自治会などで組織する「鳥取県犯罪のないまちづくり県民運動推進会議(仮称)」を設置することとしています。	北栄町在住の方
18	全県的な組織というのは、いろいろな団体のことで、自治体ではなくて。組織のメンバーは。		八頭町在住の方
19	全県的な組織を作るよりは、防犯協議会を充実させたり、メンバーを増やしたほうが簡単ではないかと思うのですが。	防犯協議会をはじめ既存の組織を活性化しつつ、県を挙げての運動を展開するために鳥取県犯罪のないまちづくり県民運動推進会議を設置し、互いに連携を図りながら推進していくこととしています。	若桜町在住の方
20	防犯活動をやっている人は、ずっと続いている人がほとんど。そういう人を選んで、勉強会とか講習会をやってもらうと非常に勉強になる。とにかく続けてやっていくことで、みんなのスキルが上がっていく。	防犯活動を行っている方のスキルアップのために研修会を行って、防犯リーダー等の育成を行うことを記載しています。	米子市在住の方
21	最近、わが町でも時々不審者を見かけるようになった。本計画では、このような不審人物対策は、どのように取り扱っているのか。	関係機関・団体が連携して、地域や保護者への情報提供を行うことを記載しています。	60歳代男性

22	都市部と山間部の抱える問題が違ってくるので、このあたりを考慮した計画にして欲しい。(都市部は、人の数は多いけれど、比較的人間関係が希薄で高齢者が家族からも孤立している。山間部は、地域のコミュニティーは良いが、人の目が殆どなく、犯罪にあいやすい。)啓発活動も講座に出かけるような人は心配はないが、老人家庭で閉じこもっている人に焦点をあてて欲しい。	高齢者等の安全確保の施策として、中山間集落における見守り活動などを、地域の防犯団体や自治会などと連携して進めていくこととしています。	日南町在住の女性
23	一人暮らしの老人が、付近の人が気づかない内に風呂場や便所で倒れていたという話をよく聞く。駐在さん、新聞屋さん、郵便さん等の協力を頂き、隣保班の人で一層の気配り態勢を整えることが求められる。	地域全体での見守り活動等、高齢者の安全確保を図ることを記載しています。	日南町在住の男性
24	郵便配達、宅配業者、タクシー、バス、病院等、公共で地域と関わる人に声をかけて、みんなで守っていくことだと思います。	地域で営業している事業者と行政機関が連携し、見守り活動を行うことを記載しています。	日南町在住の女性
25	最近、時々、山間地でも犯罪が発生している。犯罪は予期しない所で、予期しないときに起こる。高齢者、独居老人への防犯意識の浸透、施錠等すぐにできることの促進、皆が知り合いである環境、声かけ、顔見知り、家庭、知り合い、よりどころのある環境、絶えず誰かの目が届いている環境が必要。	高齢者に対する防犯講習の開催、鍵かけ運動や声かけ運動などを行うことを記載しています。	不明
26	町内の子ども会では、町内の知った大人の人には進んであいさつをしようという運動をしている。今後は、交番のおまわりさんに会ったときもあいさつをする運動をしていく。そんな活動も必要だと思う。	あいさつ運動や、声かけ運動についても、本計画の中に記載しています。	鳥取市在住の方
27	計画期間は3年であっても、継続性がなければならない。	計画期間は更新し、継続していくこととしています。	不明
28	情報発信について、ホームページを見たら分かると言うが、子どもや老人は県のホームページを見ないと思う。情報が欲しい人に見えないでは意味がない。弱者もわかるような方策をすべき。	県民などへの情報提供については、ホームページだけでなく、チラシ、携帯メールなどの様々な媒体により提供することを記載しています。	湯梨浜町在住の方
29	DV被害者について、山間部では家庭の問題はわかりにくく、わかったときは手遅れのことが多い。どこで助けてくれるのか広報啓発をしていただきたい。	DV被害者については、電話相談などの相談体制を整備するとともに、人材養成講座などの広報啓発を促進していくことを記載しています。	日南町在住の女性
30	「住宅の防犯設計普及の促進」について、住宅会社に働きかけ、初めから防犯設計をするようにして欲しい。	防犯住宅については、指針を策定し、防犯設計や防犯ガラスなどの防犯上有効な住宅部品の普及促進を図っていくこととしています。	日南町在住の女性
31	私たちのパトロール区域内で最近目立って空家が多くなった。地域の住民からも何とかならないかとの声もあり、持ち主に再三お願いしても、なかなか対応をしてくれない。地域の環境が悪化し、子どもたちにも危険で、火災発生や少年たちのたまり場になることが心配。地域住民が安心して暮らせるよう行政で対応できないものか。地域の環境整備をすることで、真の犯罪のないまちづくりができるのではないか。	市町村や地域住民と連携し、実態調査やパトロールを実施する旨を記載しています。	米子市在住の男性
32	空き地に放置車両があると、段々とその中にゴミがたまっていく。そのまま放置していると、それが犯罪のもとになる。結局は、空き地の管理者とか所有者を把握し、きちっと処置をすることが必要でないかと思う。		米子市在住の方

### 今後の検討課題(13件)

1	地域安全情報の速度が遅い。先日、子どもに抱きついた不審者が逃げたという事案でも、3~4日してから情報がくることがあった。システムの遅いので、改善をお願いしたい。	地域情報ネットワークの構築や多様なメディアによる情報提供については、迅速な情報提供が行えるように、関係機関と連携して取り組んでいきます。	北栄町在住の方
---	--	--	---------

2	こどもの通学路になる高架下の隧道に照明を付けていただきたい。	防犯環境整備については、通学路や公園等に関する防犯指針を策定し、各施設管理者に、必要に応じて、照明等の設置に配慮してもらうようにします。	鳥取市在住の方
3	米子道の下の道には防犯灯が付いているが、電球が切れたままで放置されていた。地区の管理者が、放置していたようなので、きちっと管理して欲しい。	自治会や市町村と連携を取って、施設管理者が適切な管理を行うようにしてもらいます。	米子市在住の方
4	境港には、非常に大きな緑地公園がある。自治会長が、その管理が非常に悪く、防犯上好ましくないと発言していた。	防犯環境整備については、公園等に関する防犯指針を踏まえ、管理者に適切に対応してもらうようにします。	境港市在住の方
5	犯罪情報について、緊急なものか、啓発的なものか、ある程度の目安を示してもらいたい。ボランティアの防犯パトロールとして動く動かないの判断になる。	緊急なものと啓発的なものを区別して、情報提供できるようなシステムの構築について検討していきます。	北栄町在住の方
6	行政の職員も青パトに乗ってもらいたい。犯罪抑止力として、青パトは非常にいいと思っている。実際に乗って運転してみると、住民からの声をよく聞ける。	市町村では行っているところもあるようです。今後、そうした取組を、県全体に広げていけるよう検討していきます。	境港市在住の方
7	これから新たな活動をしようとする団体があれば、青色回転灯を半額でも補助してもらおうと、パトロール隊もできると思う。	青パトに限らず、防犯活動に必要な補助制度については、今後、改めて個別具体的に検討していきます。	境港市在住の方
8	数年前に、県警の指導で私達の地区でも防犯に関する組織を作ったが、今は中途半端で宙に浮いていて、きちっとした受け皿になっていない。ある程度助成金を付けて、既存の組織を中心にして進めていった方が将来的にもきちっとしたものができると思う。	既存の団体の実態を把握するとともに、新たな団体の設置を促進し、全体的な活動の活性化を図っていきます。防犯活動に必要な補助制度については、今後、改めて個別具体的に検討していきます。	倉吉市在住の方
9	平成17年度～18年度にかけて、県警では「防犯ボランティア補助金制度」を実施していたが、本計画では、「防犯ボランティア」についても一方的に市町村に責務を負わせるような内容になり、県や県警は、それ以上の取組はしないのではないかと心配している。		40歳代
10	防犯カメラは、プライバシーの関係から反対の声もあるかもしれないが、本当に犯罪のないまちを目指すのであれば、行政機関は、防犯カメラの設置について積極的な姿勢で臨むべき。防犯カメラの設置についても盛り込んで欲しい。	防犯カメラの整備については、県としても、今後検討が必要な課題と考えていますが、個人情報管理の管理体制やプライバシーの侵害のおそれといった問題もあり、それらに関する住民の感情等も考慮して、当面は、	鳥取市在住の男性
11	防犯カメラの整備について、何か踏み込んだ記載があるのか。	地域や施設等の管理者において考えていただきたいと存じます。	米子市在住の方
12	役所や警察の組織の意思統一ができていない。庁的な取組という意識改革をすべき。	県庁内の各課はもとより、県警、市町村、教育委員会との情報共有と連携を図っていきます。	北栄町在住の方
13	警察関係の防犯協議会とのすり合わせをしっかりとっていただきたい。今は、警察だけでやっているという感じがする。	全県的に活動を盛り上げるためにも、防犯協議会との連携を促進していきます。	八頭町在住の方
<b>その他(9件)</b>			
1	街灯が午後10時になると消えている。肝心なときには役にたっていない。	農作物の生育に悪影響を与えないようにする等のため、消灯せざるえないものもありますが、防犯上必要なものについては、なるべく点灯できるように、市町村や自治会と相談してみます。	北栄町在住の方
2	県道や国道には街灯があるが、地域の中であったらいいと思う場所には街灯1本も付かない。国道の街灯を1個消せば、代わりに地域に3つくらい付けられる。	道路の街灯は、交通安全上必要なものであり、各道路の管理者が設置しています。地域の街灯は、防犯等の見地から、市町村や自治会で設置・管理しており、目的や管理者も異なるので、一律に論じるのは適当でないと考えます。	湯梨浜町在住の方

3	学校から住民への情報伝達については、生徒を通じて町内会で回覧することが一番早い。この方法を教育委員会の方を通じて、各小学校にお願いできないか。	教育委員会を通じて、各学校で検討してもらいます。	鳥取市在住の方
4	学校の登下校時間が、交番には連絡してあるか。	通学路の安全確保のため各学校から警察署等に連絡するようにしています。	鳥取市在住の方
5	警察本部でやっている振り込め詐欺の劇を、DVDに記録して、各公民館に配布していただきたい。	警察本部のホームページ上に、振り込め詐欺の寸劇を動画で掲載しているの活用してください。	鳥取市在住の方
6	警察官の巡回回数を増やしていただきたい。	駐在所勤務員によるパトカーの巡回に加え、警察署や自動車警ら隊のパトカーによる巡回を強化しています。	不明
7	駐在所が減ってきて不安に思う。駐在さんが居る居なくても防犯効果は大きく違うと思う。		不明
8	郡部の方では、以前は駐在所がいくつもあったが、今は一つになってしまい、パトロールも手薄で、顔が見えない形になってきた。住民も駐在さんを頼りにしていたようなので、警察の支援もお願いしたい。		江府町在住の方
9	警察署の再編で、山間部の「おまわりさん」が少なくなり、自分たちで守っていかねばとも思う。パトカーで赤色灯を点滅させて、パトロールするのが一番効果的だと思うが、警察の人手にも限りがあるので、県の方も啓発に力を入れて欲しい。	警察署再編の対象となった地域では、自動車警ら隊のパトカーを重点的に巡回させ、安全・安心の確保に努めていきますが、中山間集落における見守り活動の支援等により、地域全体の意識啓発を促進していきます。	日南町在住の女性

